資料4

議題４　医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先について（安城市提出）

市名	回答 医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先の調整について
名古屋市	本市においても、特に避難先との調整を行っておらず、課題として認識しているところ。
豊橋市	検討中
岡崎市	基本的には在宅避難を前提に計画を作成しているが、避難をせざるを得ない場合は個別に避難所と調整を行う。
一宮市	調整は行っていない
瀬戸市	瀬戸市では、公立瀬戸旭看護専門学校と、「瀬戸市災害時在宅酸素療養者支援施設」を開設する際の施設利用に係る災害協定を締結しており、医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難が必要な場合は当該施設を協定に基づき開設することとなっており、医療機器関連の事業者と酸素ボンベを含む医療機器の供給に係る協定を締結しており、支援施設が開設した際の資機材確保体制を整えています。
半田市	本市においては、恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠な児・者の支援体制構築に係る検討会を自立支援協議会の中に設けており、そういった方の個別避難計画についてもこの検討会で作成調整を行っております。 その際、計画上の当初の避難先については福祉避難所の開設が発災直後ではなく、被害状況の確認のうえ開設要請後に行われる関係で、自宅避難等が記載されているところですが、当然ながら医療機器に関する電源確保が課題となっているため、日常生活用具給付対象への発電機、バッテリー等の追加を検討している状況です。
春日井市	医療的ケアが必要な方につきましては、個別避難計画を作成時に病院での受入を担当のケアマネジャーで調整を行い、計画に記載されている方もいます。なお、当市におきましても福祉サービス事業所と要援護者等の受入れに関する協定を締結していますが、在宅または避難所での生活が困難が生じた場合に協力を要請することになっておりますので、現在のところ平時から受入の調整は行っておりません。
豊川市	医療的ケアが必要な避難行動要支援者は、安全が確認された医療機関へ搬送することが必要だが、その調整については、課題である。
津島市	現状、医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先について、避難所との調整は図れておりません。
碧南市	未調整。各市の状況を参考とさせてください。
刈谷市	現在、本市においては、医療的ケアが必要な方の避難につきましても他の要支援者と同様に、家の近くにある一般避難所へ一旦避難をしていただいた上で、必要に応じて福祉避難所へ移動してもらうこととなっております。 設問にあります医療的ケアが必要な方の福祉避難所への直接避難については、本市においても課題となっており、福祉避難所における簡易的な発電機の設置などにより、一定期間の電源確保はなされていますが、警報発令時における対応できる専門的な人員の確保などに問題があり、実施できておりません。
豊田市	・民間の福祉施設等と、災害時に要配慮者の避難施設としての使用に関する協定は締結しているが、具体的な調整はできていない。
安城市	議題提出市
西尾市	医療的ケアが必要な要支援者について把握できてないため、調整できていない。
蒲郡市	令和２年度より医療的ケアが必要な要支援者（人工呼吸器、在宅酸素療養者）への取り組みを開始した。人工呼吸器利用者については、蒲郡市民病院で、在宅酸素療養者は蒲郡ボートレース場を避難所としている。いずれも自家発電機を備えるなど、災害時にも電源が確保できる施設となっている。
犬山市	調整は特にしていない。本人の希望で在宅避難を選ばれるパターンもあり。
常滑市	本市においては医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先調整は現在行っておりませんが、今後の課題としてとらえております。
江南市	在宅酸素利用者が設備の整った施設に避難することができないか調整中です。
小牧市	小牧市において、要支援者が避難する福祉避難所として、老人福祉センター等を4か所指定しています。指定管理者との基本協定の中で、災害時の対応について明記するなどして場所の確保は進めています。ただし、医療的なケアで必要と考える発電機や蓄電池、酸素濃縮器などは徐々に備蓄を進めておりますが、十分な数ではく、人的資源の確保をはじめとしたその運営体制等について、様々の課題を抱えています。
稲沢市	医療的ケアが必要な方の個別避難計画については具体的な取組みにまでは至っておらず、避難先の選定についても同様である。
新城市	災害時に一般避難所でトリアージを行い、必要な場合に福祉避難所を開設し移送します。避難先の調整は市が行います。現状では平常時から避難先の調整を行っていません。
東海市	医療的ケア児の受け入れを行っている福祉事業所（にじいろのいえ）と協定を締結し、調整を行っている。
大府市	【医療的ケアに関する担当部署】 ・本市では、医療的ケアが必要な方の個別の避難先の調整について、行えておりません。通常の方とは、異なる医療的ケア用の避難行動計画の作成を今年度中には開始していきたいと考えています。 【福祉避難所担当部署】 ・本市も複数の福祉施設と福祉避難所協定を締結していますが、提出市と同様に市からの要請後に施設は受諾に努めることとされています。施設からは入所者、通所者等、平時からの利用者の対応だけで手一杯であり、地域住民等他の方の受入れは困難との意見をいただいているため、公共施設における指定福祉避難所の設置に向けて内部で検討している段階です。

議題４　医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先について（安城市提出）

市名	回答 医療的ケアが必要な避難行動要支援者の避難先の調整について
知　多　市	災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を14の施設と結んでいますが、平時から要支援者の避難先として明記することは難しい状況です。特に、医療的ケアが必要な方につきましては、電源や人員の問題があるため、保健所や保健センターと連携して避難についての検討を行っていますが、具体的な調整には至っておりません。
知　立　市	福祉避難所として１１箇所と協定を締結していますが、電源、対応できる人員の確保等の問題があり、同様に選定に難航しており、検討課題となっている。
尾 張 旭 市	医療的ケアが必要な方は個人個人の症状に差があり、本市も避難先の選定に苦慮している。福祉避難所として指定している保健福祉センターにも資機材や人員が不十分であるため、災害時に対応できる施設を調査・訪問して、受入体制を構築したいと考えている。また、必要に応じて協定締結等を進めていきたいと考えている。
高　浜　市	福祉施設やこども園と福祉避難所の開設及び運営に関する協定を締結しています。しかし、各避難所の定員に限りがあることや、災害時の被災状況や施設職員不足等により開設が確実でないことにより、平時から医療的ケアがが必要な避難行動要支援者の避難先として明記することができていません。
岩　倉　市	避難先についての調整は行えていません。今後の課題と認識しています。
豊　明　市	市内保育園等を「福祉避難所」として位置付けており、また障害者支援施設と協定を結んで「障がい者優先避難所」として位置付けているが、電源確保やケア対応人員確保などの具体的な検討は進んでいない。
日　進　市	市内に住む医療的ケアが必要な避難行動要支援者について全員を把握できていないこともあり、特別な調整はしていません。また災害時にはすぐに福祉避難所を開設しないため、まず拠点避難所に来ていただき、その後必要に応じて福祉避難所へご案内することとしています。
田　原　市	未調整
愛　西　市	現状は、特に明確な定めが無いため、今後の課題となっている。
清　須　市	清須市では、福祉サービス事業所との協定は締結していません。 指定避難先については、市内小・中学校や施設になり、二次的避難所に地域福祉避難所としています。
北名古屋市	検討中
弥　富　市	調整については現在行っておりません。 弥富市避難所運営マニュアル(資料編)に避難所利用者の事情に合わせた配慮の方法として掲載している。
みよし市	調整できていない。 今年度、対象者１名の避難訓練を実施し、課題等の確認を行った。今後、個別避難計画を作成しながら、検討する予定。
あ　ま　市	福祉避難所の協定を締結している福祉施設との避難所運営等についての調整が進んでない。
長 久 手 市	本市では、災害時の避難行動要支援者支援の受入協定を４つの高齢福祉サービス事業所と締結していますが、避難所として指定していません。福祉避難所は、公共施設に指定しています。福祉避難所での避難行動要支援者支援への対応や、福祉サービス事業所への福祉避難所の指定については、これから具体的に協議をしていくところです。なお、医療的ケアが必要な人の避難については、在宅、地域のクリニックへの避難も含めて当事者及び関係者間で検討するプロジェクトを、令和5年度に立ち上げたところです。